
学校の怪談～首絞め先輩

創造

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

学校の怪談／首絞め先輩

【Zコード】

Z8044M

【作者名】

創造

【あらすじ】

これは、ある学校の怪談です。

また、フィクションではない可能性もあります。

興味のある方はご覧になつてください。

(前書き)

ホラー系の短編は初めてです。
夏はやつぱり怪談系ですね。
それでは、そろそろ『ご覧になつてください』

ここはとある町の小学校。少し田舎風の校舎が建っている。

ここを見た人は、ほとんどが『怪談話』のネタにするような場所。そんな学校では、今怪談が流行っていた。どこにでもあるような、単純な内容。その中でただ1つ、変わった雰囲気の内容の話がある。それは、『首絞め先輩』と言われている。

昔、ある1人の男がいた。いじめ、カツアゲ、パシリ、と限りなく酷い扱いであった。

そんな生活が続いていたある日、一風変わった人がまとめる様になり、扱いがさらに酷くなつていった。

そのまま進級していき、高校世代になると、ついには『殺せ』という命令も下つた。

男はこれを拒絶した。そうすると、リーダーの人は男の足を切り、屋上から落とした。当然、男は死んだ。

当然、警察にリーダーの人は逮捕された。

逮捕されて数日、そいつは牢屋で死んだ。しかし、少しおかしいのだ。

首を絞められて死んだ。その事実は、誰もが混乱した。そいつの牢屋は1人。つまり、リーダーの人しかいないのだ。それなのに、首を絞められて死んでいた。自分でしめたのではなく、誰かに。

その後、何人が死んだ。原因は全員首を絞められて。共通点は1つ。

『男をいじめていた』

これに警察は何も考えず、ただ普通の事件として扱っていた。

そんな話である。それについての目撃談、体験談は、1つだけある。その男は夜、買い物をしていつて帰る途中、後ろに人の気配を感じた。振り向いても誰もいない。

おかしい。そう思った瞬間、何が首を絞めた。

かろうじて絞めているやつの顔を見る。

そこには、いじめられていた男がいた。

おかしい、こいつは死んだ筈だ。

そう思い、必死で抵抗をしていると、男が口を開き、こう言った。

『オレノ イノチヲ カエセ』

間違いない。いじめていたやつを殺していったのはこの男だ。

必死で振りほどこうとしたが、絞める力が強く、抵抗ができない。

俺が何をした。何も悪いことはやっていない。

そう思いながら、意識が途切れていった。

その後、その男が目覚めたのは、自分の家、自分の部屋。

何事もなかったかのような感じだった。

部屋の鏡を見ると、首には手の形のよつた絞められた跡が残っていた。

これがただ一つの目撃談である。

この事件は、いじめていた人たちだけでなく、無関係ないじめっ子、理不尽な会社の上層部などという人たちも殺されていった。

1人、また1人と命が消えていく。

次は、あなたかもしだせん。

明日の太陽を見られるのは、何人でしょうか？

さて、この話はおしまいです。ただ、フィクションではなかつたりもします。

それでは。『また明日』

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8044m/>

学校の怪談～首絞め先輩

2010年12月30日13時56分発行